

平成29年 第2回 備前市公共交通会議 会議録要旨

開催日時：平成29年8月29日（火） 10時00分～

開催場所：備前市役所 保健センター3階研修室2・3

出席委員：田原 隆雄【備前市長】

今脇 誠司【備前市市民生活部長】

大東 正虎【岡山商科大学経営学部】

加藤 勇樹（代理：木山 政紀）【西日本旅客鉄道(株) 岡山支社】

香西 正巳【県タクシー協会和気支部】

松下 重光【(株)インベタクシー】

宇治橋 昭彦【備前市自治会連絡協議会】

金本 伸一【備前市自治会連絡協議会】

更谷 暢久【備前市自治会連絡協議会】

大平 國夫【備前市自治会連絡協議会】

三宅 陽【備前市老人クラブ連合会】

松本 和好【備前市老人クラブ連合会】

出席 12 名、委任状提出 4 名

専門委員：藤井 利佳【中国運輸局岡山運輸支局】

松下 大輔【中国運輸局岡山運輸支局】

安田 勝己【備前警察署】

鷲田 陽介【岡山県県民生活部県民生活交通課】

青砥 良定【瀬戸内市政策部企画振興課】

事務局：市民生活部公共交通課

杉田（課長）、川淵（係長）、千田

◇新たに就任された委員

・金本 伸一【備前市自治会連絡協議会 副会長】

・松本 和好【備前市老人クラブ連合会】

1. 開会

2. 会長あいさつ

この度は備前市公共交通会議の開催をご案内させていただいたところ、お忙しい中多くの委員、専門委員の方にお集まりいただき大変ありがとうございます。また、日ごろから市政並びに市内の公共交通行政に深いご理解、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、地域の公共交通をめぐる環境は少子高齢化や人口減少の急速な伸展、地域の交通事業者の経営状況の悪化など大きな変化が生じております。近年、高齢者の運転による相次ぐ死亡事故が大きなニュースになっているところでございます。高齢者が自家用車に依存しなくても生活出来るような環境づくりにもとりくまなければならないと思っております。本市におきましても6月に実施しました市民意識調査でも交通政策の項目で前回の時よりも満足度は高まっているようですが、個別の意見の中にはもっとよくして欲しいという意見もあるようでございます。私の基本理念でもあります、市民が主役のまちづくりを皆さんと共に実施していく為に子供さんから高齢者の皆様方に至るまで安全で安心な移動手段を確保していかなければならないと思っております。今後とも本市の公共交通が、まちづくりを支えていけるようになりますように皆様方のきたんのないご意見を頂戴いたしたい、このように思っております。今回は改めて離島でありました島への交通がスタートするそういう時期でもあります。何卒宜しくお願い致します。

3. 協議事項

(1) 頭島線の本格運行について

－事務局からの説明（資料① P1～P3）－

会 長：頭島線の本格運行について意見や質問はないか。

事 務 局：事務局の方から補足説明。

先ほど説明させていただきました通り、こちらの時刻表につきましては7月19日に頭島地区での市営バス運行についての説明会を開催し、こちらの運行ダイヤについてご了解をいただき本日の会議に臨んでいるところではございますが、先週の金曜日に地元町内会、入鹿地区、西の谷地区からの要望書がこちらの方に届きました。内容といたしましては、市営バス頭島線の日生発入鹿行きに関して、日生発10：30の便を設けて頂きたい、という内容でした。突然の要望書の受けとありまして、検討する時間のないまま本日を迎えておりま

す。事務局といたしましては現在の資料に基づきまして協議をしていただきたいと思ひます。要望書につきましてこの後検討する時間を設けまして、変更するようであれば皆様に書面審議等で審議をお願いしたいと考えておりますので補足説明をさせていただきました。

会 長：ただいま事務局から説明がありましたが、原案としては7月19日に地元説明会を行い、その説明会によって事務局並びに市当局がダイヤを組んでおるといふのが皆様にお示ししているダイヤでございます。その中で急遽、要望書が届き、今からどうしようもないじゃないかということの中で、頭から却下するのはいかがかと思ひますので原案としては皆様にお示ししているダイヤ案で10月からスタートさせていただき様子を見る中で、財政的また運行ダイヤの関係で可能性があるのならば再度公共交通会議を開くなり、お任せ頂けるのであれば、文書での審議というようなことではいかがでしょうかというような案でございます。ご意見があればお聞きしたいと思ひます。

委 員：要望は、9：30の代わりに10：30にするんですか。それとも増便でしょうか。

事 務 局：要望といたしましては10：30の便を設けて頂きたいということになりますので増便という扱いになるかと思ひます。

会 長：何ぶん初めてのことですので原案ということでまずスタートさせていただいて、様子を見させていただくということではいかがでしょうか。

－異議なし。－

会 長：都合で再度会議を開くなりまた検討させていただきたいと思ひますのでその際にはよろしくお願ひしたいと思ひます。

(2) 既存路線の新規バス停の設置及び、一部ダイヤ改正について

－事務局から説明（資料② P4～P10）－

会 長：新規バス停の設置と一部ダイヤ改正につきまして審議を進めていく中でひとつひとつ詰めていきたいと思ひます。まず、東鶴山線の時刻について、これは地元の要望ということなんです。

事務局：利用者の方から電車の接続にぎりぎりであったりですとか、一度遅れたというお話もございまして、この度見直しを考えた次第でございます。

委員：変更はよろしいんですが、この長船駅着は全部JRと接続しているんですか？

事務局：基本はJR長船駅の接続を考えておるんですが、朝の重要な通勤、通学の時間帯については必ず接続できるようにしております。

委員：長船駅は上り下りすれ違いがあるからそれにあわせて時間をみているわけですね。

事務局：はい。上り下り線あるんですが、基本的には下り線の岡山行きに接続を考えているダイヤになります。

委員：このダイヤはきちっと配慮してあげないといけないと思います。

会長：それでは次は福石線のバス停の設置についてはいかがでしょうか。

－異議なし。－

会長：では次の八搭寺線のバス停の件ですがこちらもよろしいでしょうか。

委員：今まで通り病院前にもとまるのでしょうか。

事務局：既存のバス停の廃止はなく、そのままにしております。ただ、利用者が少ないような状況ではありますので、乗車する方がいなければそのまま通過して吉永総合支所に入るような形になります。

委員：総合支所は中へ入るんですか。

事務局：玄関前に入る予定です。

委員：10人乗りのバスですね。分かりました。

会長：次は南北閑谷学校のぞみ線の件ですがこちらもよろしいでしょうか。新規バス停の設置と一部ダイヤ改正につきまして他にご意見がございませんようでしたら承認とい

う形よろしいでしょうか。

－異議なし。－

(3) 乗継料金の適用範囲の変更について

－事務局から説明 (資料③ P11)－

会 長：乗継料金について意見や質問はないか。

委 員：乗継ということは船からバスに乗ったら100円でいけるってことでしょうか。

事 務 局：まず今回定期船利用料金を追加させていただいたのは、まず船に乗っていただき、船から降りる時に証明書を受け取って頂き、市営バスに乗り継いだ時に通常ですと200円なんですけど、船から降りて市営バスに乗った時には100円というような連携を考えております。

委 員：その乗継の関連なんですけれど、私は吉永地区なんですけど三国和意谷線から八搭寺線バスを乗り継いだら300円かかるんですよ。それはおかしいんじゃないでしょうか。

事 務 局：市内の路線はすべて同じで乗継ぎは一律100円です。

委 員：乗継ぎだったら今言われるように一つの区間で200円なら200円で降りる方が便利がいいんじゃないでしょうか。船だけじゃなくてそれを考えてくれないと。今三国和意谷線は三国から和意谷通って吉永まで出るんです。ただ和意谷を通ったらバスに酔う人がかなりおられて、それなら最初から乗らんと言います。今回この乗継が出たついでに直して欲しいと思ってるんですが。

事 務 局：それは路線の変更ということですか。

委 員：路線の変更じゃない。和意谷通って吉永まで出れば200円なんだけど、それがバスに酔うから大変なんよ。

会 長：この説明はバス料金で100円なってますが、大多府から日生へ来るまでに船代が200円でそれにバスに乗って乗継ぎが100円で300円になりますよ

という案ということですよ。だから大多府から日生へ来るまでに300円かかりますよ。バス代だけは乗継ぎということで200円が100円で乗れますという風にさせてくれませんかというのがこの案なんです。

事務局：船に乗らないとバスが100円にならないということなんで、まず船に乗って頂くというのが大前提です。

委員：私が言いたかったのは一回乗って途中で乗り換えても行先が一緒なら200円にしてもいいんじゃないかってことです。

事務局：最初の200円も100円にということでしょうか。

委員：いえいえ、一回乗って和意谷通って吉永まで出るのが200円だったら、途中で乗り換えて吉永まで出るのも200円でいいんじゃないですかということですよ。

事務局：目的地は吉永なのでということですかね。その件につきましては今後検討させていただきます。

委員：すぐには無理だと思いますが10月とか来年度からはというのはきちっとしていただかないと利用しろって言われても利用しにくいんだから利用者は減るばかりですよ。それで今まで5回あったのが3回になってもう少ししたらもっと減るかもしれませんし、それを利用促進というけど何のメリットがあるんですか。過疎化になったらどこもそうなるんですから。

会長：それでは原案は原案でいいけども、今おっしゃられたことも考えてくださいということですね。事務局しっかり受け止めて検討してください。他になければ原案承認ということよろしいでしょうか。

専門委員：行きの場合は乗継ぎと扱うということで分かると思うんですが、例えばバスに乗った後に船に乗って帰られるというのはどうなるんでしょうか。

事務局：その場合なんですけど、券自体は1日有効でその券をご提示いただいた場合は100円でバスに乗って頂くというようなかたちになります。

専門委員：行きの乗継ぎ券を帰りのバスでも提示すれば帰りも100円で乗れるということですね。

会 長：それではよろしいでしょうか。

－異議なし。－

(4) 瀬戸内市営バスの運行について

－ 事務局からの説明 (資料④ P12～P16) －

事務局：瀬戸内市が今年の11月から、備前市同様、市町村による自家用有償旅客運送の運行を予定しており、瀬戸内市内で3路線、運行する計画です。そのうちの美和線が備前市の新庄地区へ乗り入れる計画となっていますので、関係する地域公共交通会議の合意が必要なことから、今回、備前市公共交通会議で、皆様にご承認いただきたいということでございます。美和線につきましては、長船駅を起点として、長船町磯上、東須恵を経由して、邑久駅を終点とした運行ルートで、路線延長は約20.2キロ、停留所は33か所、このうち新庄地区に3か所設置する計画となっております。料金は1乗車300円の予定です。平日のみの運行で、午前・午後それぞれ2便ずつ、車両については、10人乗りワゴン車1台を使用し所要時間はおおよそ40分の予定となっております。
(運行ダイヤはP15～P16参照)

会 長：瀬戸内市さんの市営バスが備前市に乗り入れてくださるということですがよろしいですね。それではこちらでも承認頂きます。

－異議なし。－

会 長：以上で協議事項は終わりました。

4. 報告事項

- (1) 離島航路の再編について (資料⑤)
- (2) 書面審議の結果報告

会 長：報告において質問や意見はないか。その他、公共交通関係について質問や意見はないか。

委 員：以前から思っておりましたが、緑陽高等学校に通う学生は特にJRを使う機会が多いと思います。その中で当然お隣のまちの和気町からの通学生もいらっしゃると思います。そしていろいろなことで関係が深い和気町と備前市では、今はバスが走っておりませんがそのことについて何かお考えがありましたらお聞かせください。

事 務 局：以前走っていた片鉄片上から和気駅に向かつてのバス路線においては平成27年度廃線ということで、その代わりに備前市の南北を貫く便としまして南北開谷学校のぞみ線を運行しているというような状況です。
こちらの線につきましては片鉄沿線協議会との協議も必要となってくる案件にはなりますので今すぐは難しいと思いますけれども、そういった中での話し合いで考えていく案件かと思っております。

委 員：よろしく申し上げます。以前あったようなバスが運行されると住民の生活の利便にもですし、特に学生さんが今後減ってくると予想されるので、備前市にある唯一の高等学校に和気町からしっかりと通っていただけるようになるのではないかと考えこのような質問をさせていただきました。

会 長：ありがとうございます。私の席から発言するのはいかがかと思いますが、片上沿線協議会というものがあまして、その中での要望もあるようでございます。現在は廃止された後、和気町さんがデマンドで走っているというのを聞いたことがあります。その辺りの事情も考慮しながら、事務的に少し詰めてみたいと思います。これには県も入った片上沿線連絡協議会というものも残っておりますのでその辺り検討してみたいと思います。そういうことでご理解頂きたいと思います。

委 員：バスの状況なんですが、三国地区の場合病院が火曜日にあるんです。バスは火曜日に走ってはいるんですが乗れる時間じゃないんです。診察が10時からで朝8時すぎに出てそこからないんですよ。これから歳を取って免許証も返納したりするとバスも当然必要ですのでそれも含めて考えて欲しいと思っています。今言ったように年寄りが増えて医者通いになるので、三国和意谷線は和意谷通らずに直通にはならないんでしょうか。今は1本で動いていますが昔のように和意谷は和意谷、東西線は東西線で動かしたりできませんか。

すぐにはできないとは思いますが来年度に向けて検討していただけたらと思います。

事務局：確かに吉永の三国和意谷地区だけに限らず、片上地区ですとか伊部地区でもやはり病院への乗り入れのお話は公共交通課の方にたくさん要望をいただいております。みなさんそれぞれの要望に応えられればいいんですがなかなかそういった財政的だったりですべての要望に応えられないというような状況でもございます。今後そういったバスの時刻やダイヤについては皆さんが利用しやすいいいものに変えていけたらなと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

委員：現在タクシーを呼んで三国の方まで行くと5千円かかるので往復だと1万円。病院行くのに1万円もかかるんですよ。家の者は居ないので娘さんや息子さんを呼んで医者へ連れて行ってもらうというような状況なのでぜひとも考えて頂きたいと思っております。

会長：飯掛はささめあい号をしてますよね。県の方からこの話があった時にいい話があるんだなと思ったんですが、やはり地元のタクシー事業者さんの了解をもらえなかったらダメだということで認識をあらたにしとんです。例えばタクシー事業者さんの了解をもらえば、タクシー事業者さんに委託すればいいんでね、何かそういったデマンドのような形で地元の方と話が出来ますかね。

委員：それも依然検討したことがあるんですが、うまくいきませんでした。

会長：タクシー事業者さんの方が問題なんですか。

委員：ささめあい号みたいなことが出来ればいいんですが。飯掛地区は和気地区さんと吉永地区さんのタクシー事業者がOKということでしたので今ささめあい号が運行しているんですが。うちらの場合は大抵タクシーじゃないと呼ばないし、現在も乗り入れてますから。

会長：そのタクシー事業者さんに委託するというのは出来ないんですか。そういう形で話をするということは出来ないんでしょうか。

委員：それはいいですけどあんまり安くはならないでしょう。市の方がいくらか持ってくれるのであれば300円か500円は払ってタクシーで行くならいいですけど。以前あったのが三国地区だけにタクシーを走らせたならどうなんって言ったら、上がってきて走らせるのはあほらしくて出来ないそうです。それはそう

でしょう。

和気みたいにデマンドが行ってますが、デマンドの場合は飯掛は通り過ぎて乗れないんですから。その辺りも含めて考えて頂きたい。

会 長：タクシー事業者さんのみにもなるし。路線バス回数増やして空気運んでも意味ないですらね。何かタクシー事業者さんとうまく話が出来ればいいのですが。

委 員：そりゃタクシー事業者さんだって儲けだからね。その辺りを話してみてください。

会 長：他に意見はないか。

委 員：頭島線の増便の件ですが、先程の説明の中で増便すると費用が嵩むというお話がありましたね。公共事業の導入で備前バスからこちらに代わってからかなりの負担増になっておるんじゃないかという思いがします。その辺りの収支面を考えて、よりいい面を考えて頂きたいと思います。

どんな内容の協議であっても書面審議ですとマルするだけで、何も言葉を発せられませんので書面審議はよっぽどの事がない限り安易にするものではないかと思えます。

最近特に公共事業の書面審議は多いですね。やはり増便となりますと費用が嵩むと思うんですよ。そういうのも含めて考えて頂いて書類審議をするのであればしていただきたいと思えます。

先程吉永の委員さんからもご意見がありましたように、まちづくりを進めていくうえでは市民の皆さんの足というのは非常に大事ですから。2、3人だからいいわという風にはいきませんので。

会 長：ありがとうございました

6. 副会長のあいさつ

副 会 長：本日はありがとうございました。

今回はダイヤの調整であったり、料金の一部改正であったり大幅な変更というわけではなくて、実態に合わせた変更ということだったと思います。そのうえで、新たな要望として同じ目的地ならば同一料金でお願いしたいというようなことで、実際に長崎の路面電車などはそのようになっておりますし、場合によ

って可能なのではないかなと思いました。

今後大幅な変更が必要になる場合には、何らかの状況を持って、あるいは目標を持って何をどこまでカバーできればそれは達成できたことになるのかというような具体的な指標とその手段を考えていくというようなことが必要ではないかと思います。

要望があってそれに逐一对応するというやり方では手が回らない可能性があるのではないかという風に思いますまた皆様と共によりよい公共交通が出来るようにと思っております。本日はありがとうございました。

6. 閉会

会長：これを平成29年度第2回備前市公共交通会議を閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。